新中期経営計画の基本方針

2020年度からの3年間を計画期間とする新たな中期経営計画がスタートしました。
ダイナミックな経営環境の変化に対して、ビジネスモデルの弛まぬ変革に取り組みつつ、新たな事業やビジネスにも果敢に挑戦していくことで、お客さまや社会が持つさまざまな課題の解決を目指し、SMBCグループの持続的な成長と企業価値のさらなる向上を追求していきます。
グループの新たなビジョンである「最高の信頼を通じて、お客さま・社会とともに発展するグローバルソリューションプロバイダー」の実現に向けて着実な第一歩を踏み出すべく、下記の3つの基本方針を定めました。

ビジョン

最高の信頼を通じて、お客さま・社会とともに発展する
グローバルソリューションプロバイダー

基本方針

事業戦略	Transformation	既存ビジネスのモデル改革
	Growth	新たなビジネス領域への挑戦
経営基盤	Quality	あらゆる面での質の向上

財務目標

前中期経営計画と同様「収益性・効率性・健全性」の3つの指標を設定していますが、収益性はROEからROCET1に、効率性は経費率からベース経費による管理に変更します。（詳細はCFOメッセージP031へ）

収益性	効率性	健全性
ボトムライン向上と ディシプリンを利かせた 資本運営により極大化	経費額を適切にコントロールし、 成長投資を実行	規制最終化に対応した 十分な資本水準を確保

2022年度目標

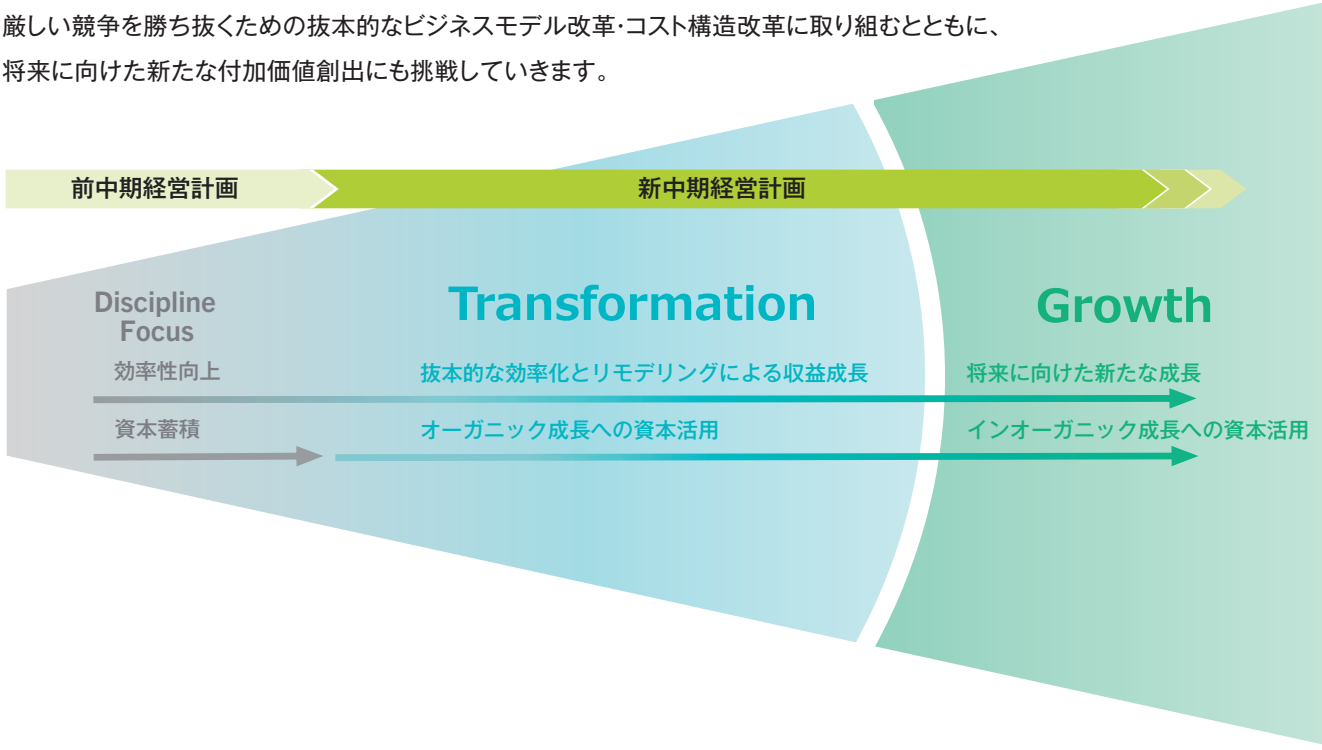
ROCET1 ≧ 8.5%	ベース経費 < 2019年度実績	CET1比率 10%程度
（変更）健全性と同様にCET1を重点管理	（変更）成長投資との両立を実現	バーゼルⅢ最終化・ 除くその他有価証券評価差額金

2019年度実績

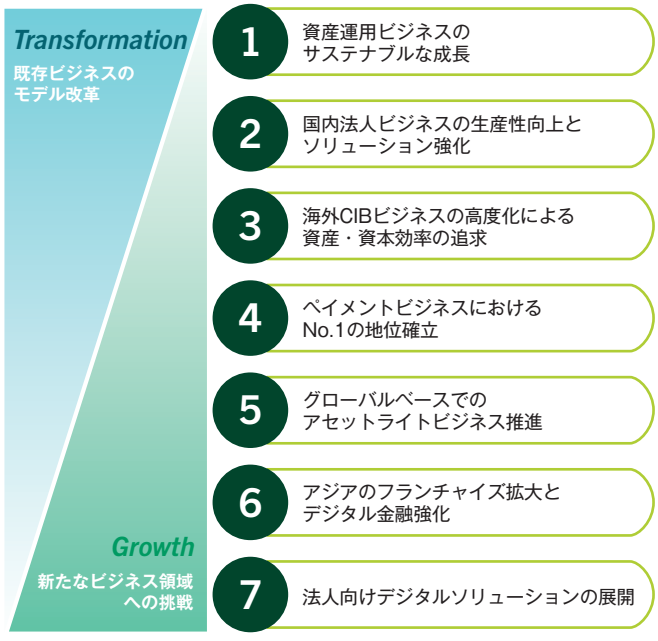
9.5%	約15,300億円 （2016年度比約700億円増）	9.8%

事業戦略 – Transformation & Growth –

厳しい競争を勝ち抜くための抜本的なビジネスモデル改革・コスト構造改革に取り組むとともに、
将来に向けた新たな付加価値創出にも挑戦していきます。



7つの重点戦略



経営基盤 – Quality –

グローバル金融グループとして、ステークホルダーの皆さまのご期待にお応えすべく、経営基盤の不断の強化に取り組んでいきます。